

かないすいとうざん  
**【金井水頭山B遺跡】古墳時代のウマの歯が発見されました**

上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴い発掘調査した吾妻郡東吾妻町の金井水頭山B遺跡で、古墳の周堀付近の土坑からウマの歯が発見されました。その年代を測定したところ古墳と同時期であると判明したため、古墳に伴い埋葬されたウマと考えられます。

### 1 所在地

吾妻郡東吾妻町金井

### 2 時期

古墳時代後期（6世紀前半～7世紀初頭）

### 3 発見の意義

古墳時代の埋葬されたウマが発見されたのは、**吾妻地域では初めて**です。

古墳時代に朝鮮半島からもたらされたウマは、軍事・農耕などあらゆる面で活躍しました。しかし、その飼育・生産は先進的な技術が必要であり、限られた者しか行えませんでした。そのため、飼育・生産に関わった集落や首長の古墳周辺に埋葬されるのがこの時期の特徴です。それが発見されたということは、**吾妻地域でもウマの飼育・生産が行われていたこと**を示します。

### 4 問い合わせ先

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査部  
〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田 784-2  
電話 0279-52-2511

### 5 その他

- ・発掘調査は終了しており一般公開の予定はありません。
- ・出土資料は脆弱であり管理の都合上、実物資料の取材はできません。
- ・本報道提供資料は、写真の提供のみとなりますのでご了承ください。

## 【補足】

### 1 金井水頭山B遺跡の調査について

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が令和7年度に発掘調査を実施した金井水頭山B遺跡で、2基の円墳を発掘しました（図1、写真1・2）。墳丘の盛土が6世紀初頭の榛名山二ツ岳の噴火による火山灰の上に築かれていることや周堀付近に埴輪を伴うこと、2号墳の周堀から出土した土器の年代などから、2基の円墳は6世紀前半頃に築造されたと考えられます。

このうち1号古墳の周堀の縁に掘り込まれた14号土坑から、上下が揃った状態でウマの歯が出土しました（図2・3、写真3～5）。歯以外の骨などは残っていませんでしたが、土坑の大きさから、本来は全身を埋めていたと思われます。

現地で実物を観察した動物考古学の専門家(丸山真史東海大学教授)によると、出土したウマの歯は年齢5～6歳と見られ、最大でも8歳程度までだろうとのこと。これまでの事例をみても、古墳に伴って埋葬されるのはこのような若いウマが多いということでした。

出土したウマの歯の放射性炭素年代の測定を行ったところ、較正年代は西暦535～605年（6世紀前半～7世紀初頭）の暦年代幅（2σに89%の確率）で、古墳時代後期に埋葬されたことが明らかになりました。この結果から、古墳の築造とほぼ同時か少し後に埋葬されたと考えて矛盾がないことがわかりました。

### 2 県内の事例

古墳時代のウマの埋葬例は、高崎市の剣崎長瀬西遺跡が知られています。5世紀の古墳の近くや竪穴建物から埋葬されたウマの骨と馬具が出土しており、この一帯は、出土品や古墳の様子から渡来人と関わりの深い地域と推定されています。

また、埋葬例ではありませんが、渋川市では、「甲を着た古墳人」で有名な渋川市の金井東裏遺跡やそのすぐ近くにある金井下新田遺跡、中郷田尻遺跡などで、6世紀初頭の榛名山噴火による火砕流で被災したウマの歯や骨が出土しました。他にもウマの足跡が残る遺跡が渋川市には多くあり、関わりが深いことがわかります。

今回の金井水頭山B遺跡での発見で、**古墳時代後期の吾妻地域でウマの飼育・生産が行われていたことが初めて明らかになりました**。同じ吾妻地域（東吾妻町深沢）の玉科遺跡でも、上信自動車道の建設に伴う発掘調査で、古墳時代後期の古墳の近くから馬具が出土した土坑を発見しました。歯や骨は残っていませんでしたが、ウマを埋葬した可能性があります。

### 3 他地域の事例

大阪府の河内地域では、古墳時代中期（5世紀頃）のウマの飼育・生産や埋葬の遺跡が見つかっています。

また、長野県飯田市周辺でも、古墳時代中期から後期の埋葬されたウマが約30例も発見されています。これらは古墳の周堀内や周堀内の土坑、あるいは単独の土坑に埋葬されていました。

このことから、古墳時代に朝鮮半島から伝わったウマの飼育・生産は、畿内から全国に広がりましたが、群馬県には長野県から伝わったと考えられます。

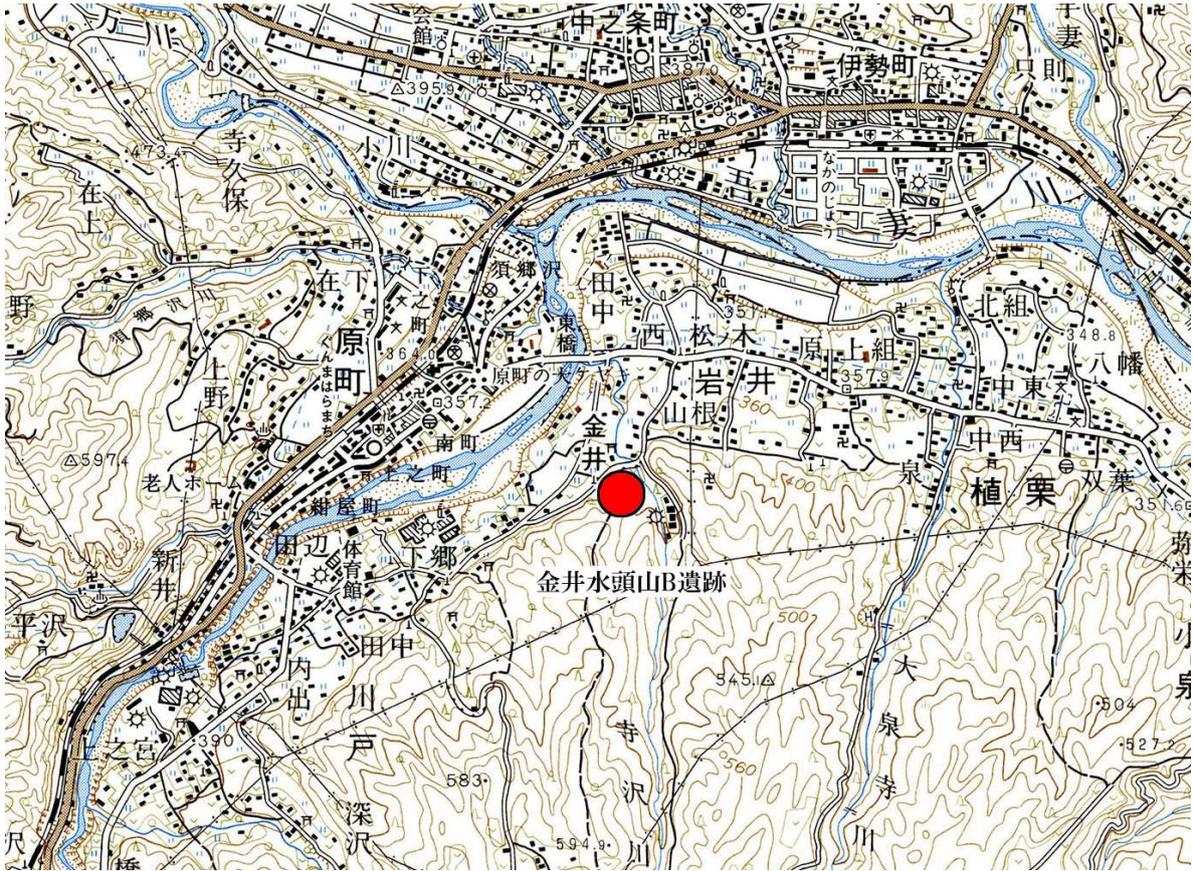


図1 金井水頭山B遺跡位置図



写真1 金井水頭山B遺跡全景（南東から）



写真2 1号古墳全景（東から）



写真3 14号土坑とウマの歯の出土状況（南西から）



写真4 14号土坑の全景（南西から）



写真5 出土したウマの歯

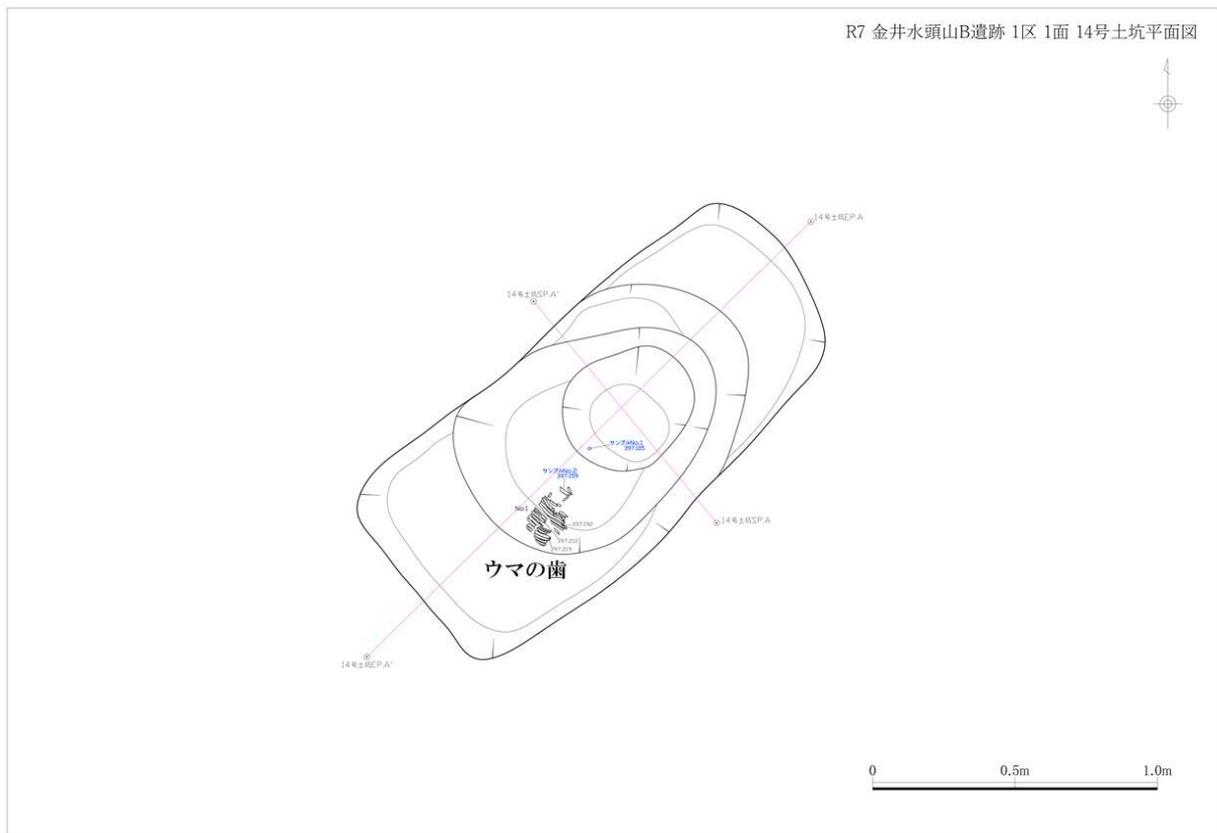


図2 14号土坑とウマの歯の平面図

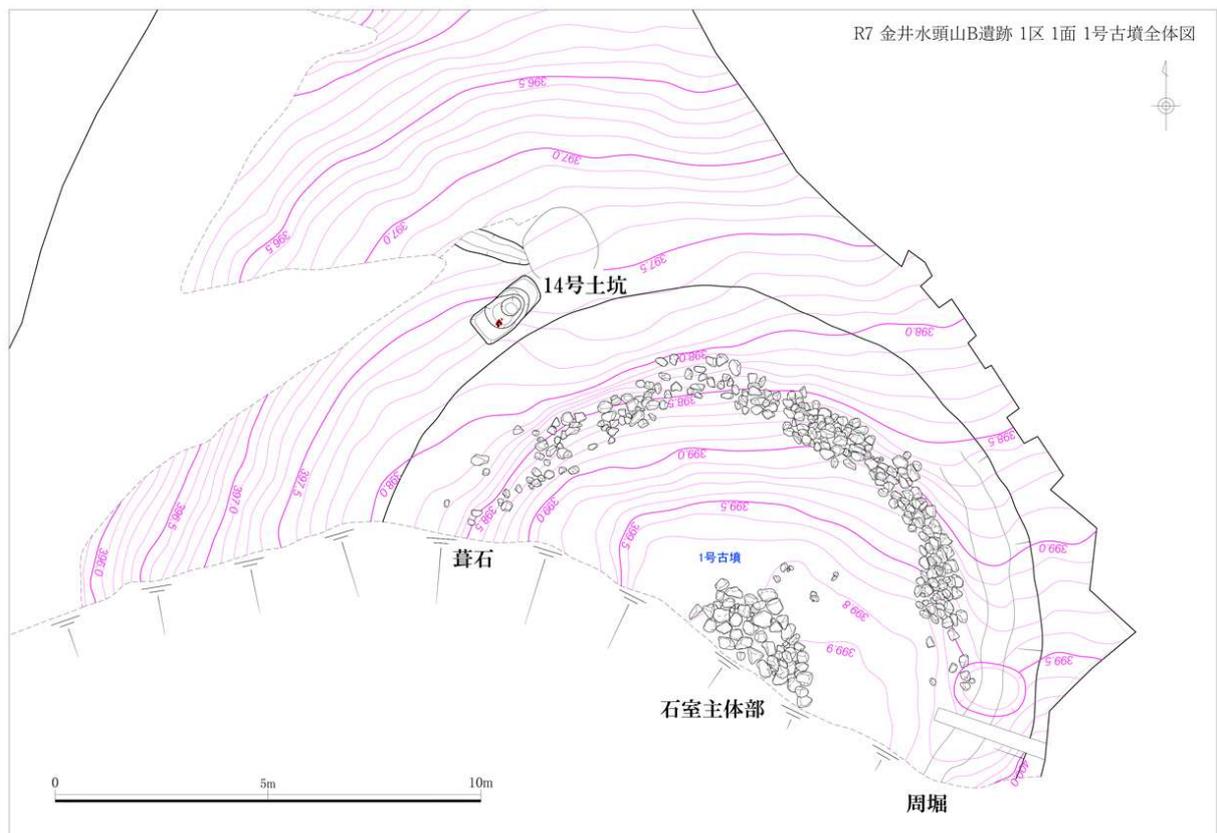


図3 1号古墳と14号土坑の平面図